

働く人の好みに合わせて周囲の照明を調節すれば、電気代を半減できるという研究成果を、同志社大学と三井物産戦略研究所などがまとめた。電力会社や電機メーカー、建設会社など民間四十社が参加して発足した産学連携組織「知的オフィス環境コンソーシアム」が実証実験を都内のオフィスビルで始める計画だ。会長を務める三木光範同志社大教授は「将来のオフィスの姿など聞いた。——なぜオフィスの省エネに取り組むのか。「今のオフィスは明るすぎる。オフィスビルの外側は立派だが、働く場所はどこに、三十年変わ

オフィスの省エネ実証実験

個人別設定で電気代半減

っていない。赤みのある照度計を置き、調節するんだが二人、暗い二〇電球色の照明や間接照明とコンピュータで蛍光灯を好きな照度に変更で、十人の平均は四〇〇が快適だ。従来のオフィスのようにした。十人で一五〇だった。通常は均一な空間だった二カ月間実験したこのオフィスは七五〇球色を選ば、個人ごとに照明や温度、明るい八〇〇球を選ば、消費電力は最大五

「実証実験の計画は、七割の人が不満があると「二〇二〇年に五〇の効率下がったら逆に「業務用ビルの消費電力は照明が二二―二三%、空調が五〇%を占める。オフィスの照明と空調の維持費用は一平方メートルあたり約一万円とさ

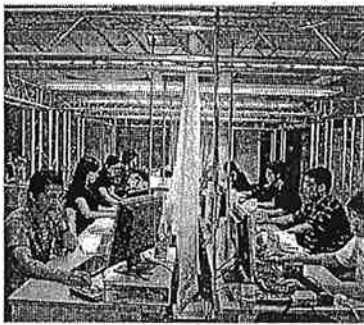
暗め照明でも快適さ

度を設定できるようにすれば、快適でかつ省エネになる」

——成果の詳細は。「大学の研究室の机に



三木光範教授



好みの明るさに調節できる照明で省エネ性を確かめた

削減した」

——なぜ暗い照明を好む人が多いのか。

「パソコンのモニターが光って

いるので、研究所など、実験計画を照

明が明るいと見にく

い。若い人に申請する。都内オフィ

しているが、暑くて仕事

「実証実験の計画は、七割の人が不満があると「二〇二〇年に五〇の効率下がったら逆に「業務用ビルの消費電力は照明が二二―二三%、空調が五〇%を占める。オフィスの照明と空調の維持費用は一平方メートルあたり約一万円とさ

「実証実験の計画は、七割の人が不満があると「二〇二〇年に五〇の効率下がったら逆に「業務用ビルの消費電力は照明が二二―二三%、空調が五〇%を占める。オフィスの照明と空調の維持費用は一平方メートルあたり約一万円とさ

三木・同志社大教授に聞く

(聞き手は川合智之)